

老舗銘品へその弐 R I C O C H E 千成屋へ 信念を継ぐ一品めぐり

老舗には必ず、時代を超えて人々に愛される商品がある。そんな歴史深い一品を訪ねて、

戎橋筋商店街の名店をめぐる「老舗銘品」。

さて今回は、ここ「R I C O C H E 千成屋」をご紹介します。

永く受け継がれてきた「銘品」に、

代々、大切に守りつづけてきた「信念」を知る。

を「のキャッチフレーズで、お店を訪れるお客さんは目を輝かせた。その当時から、古くからのファンに今も変わらず愛され続けている商品がある。ベルギー製のチョコレートタフィをはじめ、ドイツ製のミックスフルーツ、今ではポピュラーとなったフランス製フォションのマーマレード…。店内に並ぶそれらの商品は、老舗が大切に守り続けてきた「お客様に喜んでいただけるもの」という信念を語っている。



喜んでもらえるものを

世界中から取りそろえたい。

戎橋筋商店街でひとときわ活気を見せる

「R I C O C H E 千成屋」。物資のない時代に

米軍から調達した舶来の珍しい菓子や酒の

販売したことが、昭和二十三年創業の老舗の

ルーツだ。「パスポートなしで世界のフード



おもしろいものを世界中から。

千成屋になら、きつとある。

あくなき商品探求心が、「おもしろい店」であり続ける理由。

そして創業から六十一年、転機が

訪れる。店の間口を倍に広げ、赤と

白のビビッドなデザインで改装

し、ワインや食材の品をさらに増

やした。リニューアルされた店構

えにも、やはり受け継がれた信念

は変わらない。それは、お客様が

じっくり品定めができ、おもしろ

いと感じていただける店づくり。

そして、「おもしろい商品」を新た

に見つけたいという想いだ。日本

各地で展示会があれば駆けつけ

る。注目した商品はすべて試食す

る。美味しいと納得した商品は、有

名無名に関わらずどんどん買い付

ける。展示会で試食し、思わず美味

いと叫んだピスタチオのはちみつ

漬けは、店に置くや否や完売。アー

モンドがぎつしりつまったオーガ

ニックなクラッカーをはじめ、堺

の小さな有名店から仕入れる原木

バケットなども、そのおいしきで

人気を集めている。また、お客様か

らの薦めが仕入れのきっかけだっ

たのが、殻つきのローストマカデ

ミアンナッツや、白トリュフソル

ト。大型瓶のタバスコやピクルス

は、「飾りとしておもしろいから」

と店に置いたはずが、すぐに売れ、

関連商品へと広がりを見せた。それ

なら次は、カプサイシン系の商品

コーナーを設けようと考えている

という。自らの探求心と柔軟な発想

で、はたまたお客様との交流で、つ

ねに「新たなおもしろいもの」にこ

だわりつづける「R I C O C H E 千

成屋」。だからこそ、いつ訪れても新

鮮な喜びに出会えるのだろう。

